

## 令和 5(2023)年度後期 学生を対象とした授業評価アンケート結果

### 1. 概要

授業内容の改善により本学全体の教育の質の向上を図る目的で、学生を対象とした授業評価アンケートを実施した。対象科目は令和 5 年度後期に開講した科目のうち、実習科目を除いた 43 科目 である。

### 2. 実施方法

#### 1) 学生を対象とした 授業評価アンケート <別紙 1：アンケート質問項目>

##### (1) 実施日時

各科目の授業最終回

##### (2) 内容 <別紙 2：授業評価アンケートまとめ>

- ① 学生自身の取り組み（授業に臨む姿勢 や態度 、 自己学習、 授業を受けるマナーなど） 4 項目
- ② 授業の内容（量、難易度、満足感など） 6 項目
- ③ 授業の技法（教員の話し方、教材 や板書の使い方、 資料 の活用 など） 6 項目
- ④ 総合評価（教員の熱意、到達目標の達成具合、授業に対する満足感など） 4 項目
- ⑤ この授業を履修してよかった点とその理由（自由記述）
- ⑥ この授業を履修して改善してほしい点とその理由（自由記述）

※①～④については 4 段階評定（ 4：はい、1：いいえ、その中間に 2 と 3 を設ける）で回答を求めた。  
点数が高い方が評価も高い。

※実施にあたり、アンケートは個人の匿名性が保たれることを説明した。また一部に中傷ともとれる内容の記載が過去に見られたことから、教員に対する誹謗中傷や公序良俗に反する内容にならないよう注意した書き方をするようアンケート冒頭に説明を加えた。

(3) アンケートの配布・回答・回収は Google Forms で行った。

#### 2) 授業評価アンケートに対する担当教員からの回答

##### (1) 実施方法

集計したアンケート結果と自由記述の内容を科目担当の教員に配布し、下記の内容の回答を依頼した。<別紙 3：授業改善報告書フォーマット>

##### (2) 回答内容

- ① 学生に対する回答（改善策） <別紙 4：授業改善報告書> ⇒公開することで学生にフィードバック
- ② FD 委員会に対する意見（受講している学生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等） ⇒教員からの意見・課題等を関係部署に連絡することで授業改善につなげる

## 【 年度 授業評価アンケート

この授業評価は、本学の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものです。

学生の皆さんからのご意見を取り入れるため、ご協力をお願いします。

なお、このアンケートは成績評価等には一切影響ありません。

《お願い》

\* 教員が複数で担当している場合は概ねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

\* このアンケートは、皆さんの意見を反映させることにより授業をより良いものに行っています。

教員に対する誹謗中傷や公序良俗に反する内容にならないよう注意してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。【科目名： \_\_\_\_\_】

1. 学生自身の取り組み	はい			いいえ
1) 意欲的に授業に参加しましたか	4	3	2	1
2) 授業の予習・復習などの自己学習をしましたか	4	3	2	1
3) 学生としての役割(積極的な発言、協調性等)は果たせましたか	4	3	2	1
4) 授業を受けるマナー(遅刻、居眠り、私語、携帯電話等をしないこと)を守れましたか。	4	3	2	1
<b>2. 授業の内容について</b>				
1) 授業の内容は量的に適切でしたか	4	3	2	1
2) 授業前後の課題の量は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業科目の難易度はあなたにとって適切でしたか	4	3	2	1
4) 毎回の授業のねらいは明確でしたか	4	3	2	1
5) 毎回の授業の内容は興味・関心が持てるものでしたか	4	3	2	1
6) 授業を受け満足感がありましたか	4	3	2	1
<b>3. 授業の技法について</b>				
1) 教員の話し方は適切でしたか	4	3	2	1
2) 教材(視聴覚教材を含む)や板書の使い方は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業のテキストや資料の活用は適切でしたか	4	3	2	1
4) 課題やレポートと授業内容の関係は適切でしたか	4	3	2	1
5) 発言や質問の機会は適切でしたか	4	3	2	1
6) 教室等の環境、整備は適切にされていましたか	4	3	2	1
<b>4. 総合評価</b>				
1) 教員の熱意を感じられましたか	4	3	2	1
2) あなたはこの授業科目の到達目標を達成できたと思いますか	4	3	2	1
3) この授業科目で得たものは多かったと思いますか	4	3	2	1
4) 総合的に考えてこの授業科目に満足できましたか?	4	3	2	1

5. この授業科目を履修して、よかったと思う点を、その理由とともに書いてください。

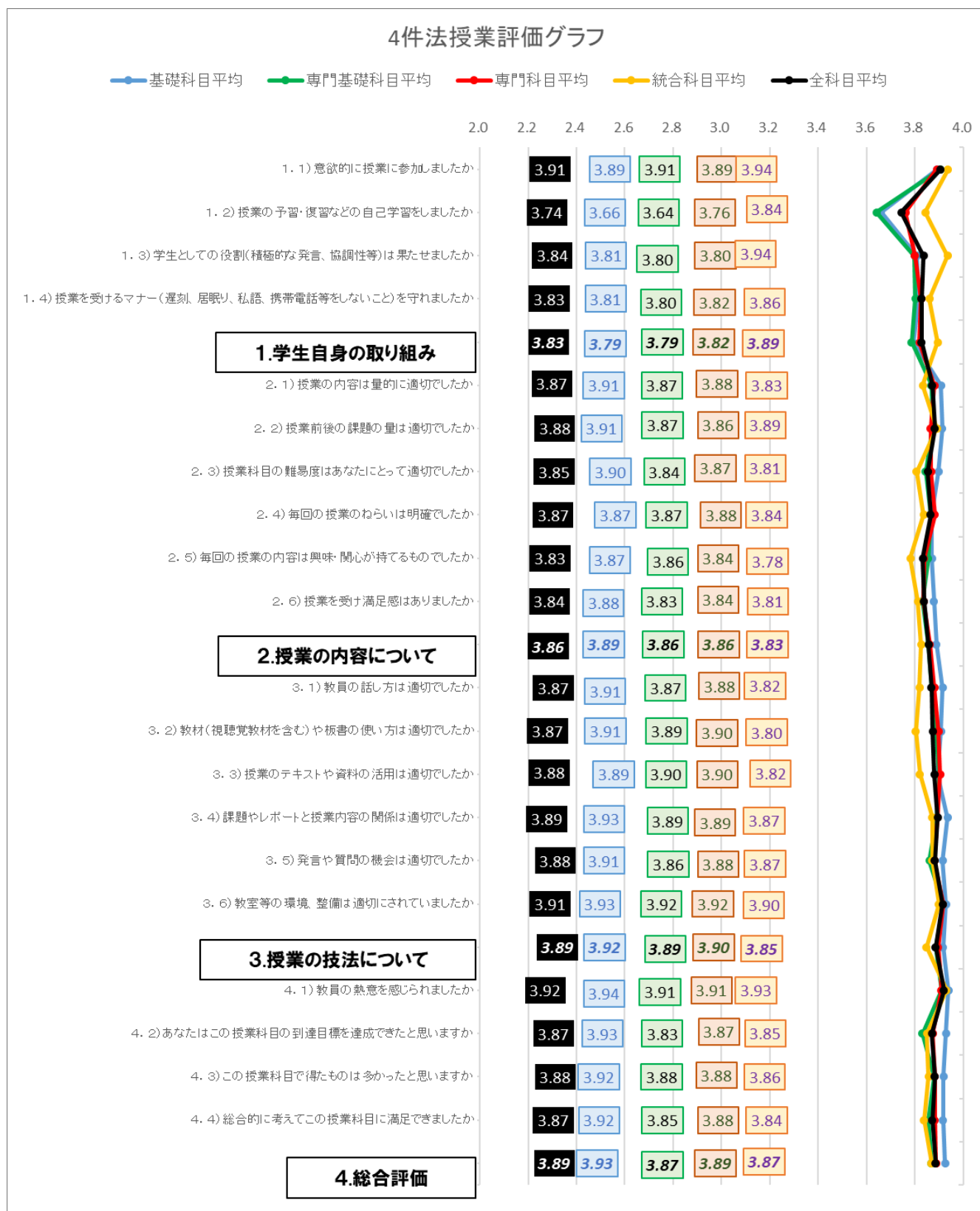
6. この授業科目を履修して、今後改善してほしいと思う点を、その理由とともに書いてください。

ご協力ありがとうございました。

令和5(2023)年度後期 授業評価アンケートまとめ

授業評価対象科目数： 43科目

基礎科目：8 専門基礎科目：7 専門科目：17 統合科目：11



令和 ( )年度後期 授業改善報告書

授業科目名：	科目責任者または記入教員氏名：
(FD 委員会記入欄) 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>1. 学生に対する回答 (改善策)</p> <p>(受講した学生に向けて記述をお願いします。こちらは原文のまま公開させていただきます。)</p>	
<p>2. 受講している学生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等 (FD 委員会宛のご意見)</p>	

令和 年 月 日 ( )までにご返送願います。

令和 5(2023)年度後期 授業改善報告書

授業科目名：英語 I	科目責任者または記入教員氏名：Lester Ng
(FD 委員会記入欄)	1 年生 <span style="border: 1px solid black;">基礎科目</span> ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>Thank you all for your hard work this year. It was a pleasure meeting you and teaching you English. We will have more chances to speak English together in your second year. I look forward to teaching you again!</p>	

授業科目名：病態生理学	科目責任者または記入教員氏名：三浦靖彦
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・ <span style="border: 1px solid black;">専門基礎科目</span> ・専門科目・統合科目
<p>肯定的な意見が多く安堵した点がありますが、改善点等について以下に記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章が多い⇒1 枚のスライド内の文字数を減らす工夫をします。また、理解を深めるために図を利用できるものは、図を別のテキスト等から探して掲載できるよう気を付けてみます。ただし、教えなくてはいけない分量が膨大であるため、端折ることはできない点をご理解いただきたい。</li> <li>・テキストはナーシング・グラフィカ「病態生理学」を中心に扱っていますので、ご了解ください。</li> <li>・基本的に授業時間は遵守し、超過することはほとんどなかったと思いますが、更に気を付けます。</li> <li>・過去の国家試験問題を毎回講義の最後にやって欲しいという意見もありますが、短期記憶・長期記憶を考え、この学年の場合は、期末試験直前にやる方が効果的と考えています。ご自身の復習として、毎回の講義終了後、自習できるよう、事前に試験問題集をお渡しできるよう考えます。</li> </ul>	

授業科目名：疾病治療論 I (内科学)	科目責任者または記入教員氏名：三浦靖彦
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・ <span style="border: 1px solid black;">専門基礎科目</span> ・専門科目・統合科目
<p>肯定的な意見が多く安堵した点がありますが、改善点等について以下に記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章が多い⇒スライドの文字の大きさ、フォントについては、各教員でも統一するよう留意します。また、1 枚のスライド内の文字数を減らす工夫をします。さらに、理解を深めるために図・表を利用できるものは、図を別のテキスト等から探して掲載できるよう気を付けてみます。</li> </ul> <p>ただし、教えなくてはいけない分量が膨大であるため、端折ることはできない点をご理解いただきたい。</p>	

授業科目名：小児看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：濱中喜代
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ <span style="border: 1px solid black;">専門科目</span> ・統合科目
<p>授業評価にご回答頂きありがとうございました。回収率は 64%と若干低かったのですが、小児看護学に関心が高まったことや看護実践に繋がる学びが得られたことなど肯定的な意見が多くありました。評価点では自己学修の評価が若干低かったのですが、他はほぼ平均的でしたので、安心いたしました。授業の最初に皆様に順繰りに関心事を発表してもらったことも興味深かったとの反応が多くあり、今後も継続していきたいと思います。また授業の途中に入れたグループワークに対しても効果的だったとの意見が多く、今後も活用していきたいと思いました。1 回だけであった「おむつ交換等の演習」についても学びがあったとの意見が少なくなかったため、この時期に組み込んで良かったと感じました。改善してほしいとの意見にスライドがプリントとあっていない時があつて困ったとの意見がありました。今後はそのようなことがないように注意したいと思います。</p>	

授業科目名：ヘルスアセスメント	科目責任者または記入教員氏名：土田幸子
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ <u>専門科目</u> ・統合科目
<p>前期の基礎看護援助論で学んだバイタルサインや解剖学の知識を活用して、身体面を計測や測定しその値の意味、視覚を通して観察し現在の身体状況を把握する。さらには、栄養面や心理面の状況の把握について演習を通して学んだ。演習に入る前には、事前学習が重要であり、それをもとに演習を展開することが習慣化されてきている。しかし、事前学習の課題の提示する時期が量に見合わないという意見があり、講義と演習の連動を考慮して提示するように調整したい。事前学習については、グループ内でやってこない人がやってきた人のを映して演習に臨んでいるという実態があり、事前の確認方法について検討していきたい。そして、事前学習のワークシートの記載スペースが少ないということについては、領域内で共有して調整していきたい。</p>	

授業科目名：看護理論	科目責任者または記入教員氏名：土田幸子
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ <u>専門科目</u> ・統合科目
<p>様々な看護の理論家を知り、今後の専門領域の看護学への導入となるよう努めた。グループワークを中心とした展開であったが、グループワークを通して調べ方やまとめ方の力がついた、看護を学ぶことへ意欲が高まったなど、成果がみられた。しかし、課題への取り組みの評価が低かったことは、課題の提示のしかたをもっと詳細にすべきであったと考える。</p> <p>グループワークについて、メンバーを固定しないほうがよいという意見があり、メンバー編成については内容によって考慮する必要もあることを気づかせていただいた。</p>	

授業科目名：生活援助技術論	科目責任者または記入教員氏名：土田幸子
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ <u>専門科目</u> ・統合科目
<p>前期の基礎看護援助論、後期前半のヘルスアセスメントでの学修を対象者の日常生活行動への援助技術の習得を目指し、單元ごとに講義と演習を組み合わせで展開した。看護実践の基本技術を学べ、この援助が対象にどのような効果を及ぼすのかを考えることができたという回答もあった。しかし、毎回の演習での学びについては肯定的意見のみであったが、実技テストでの教員間の統一性に欠けているという指摘が4名ほどおり、この点については事前の打ち合わせを強化していく。事前学習のワークシートの記載スペースが少ないということ、学修量については、領域内で共有して調整していきたい。</p> <p>実技について動画だけではなく、デモンストレーションをとりいてほしいという意見につきましては、実施項目を吟味して取り入れるよう修正していきます。</p>	

授業科目名：母性看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：江守陽子
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ <b>専門科目</b> ・統合科目
母性看護学に興味を持っていただけるよう、講義内容をかみ砕いてわかるようにお伝えしたいと思います。	

授業科目名：老年看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：吹田夕起子
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ <b>専門科目</b> ・統合科目
<p>授業の良かった点として、高齢者の身体的・精神的な特徴がわかった、高齢者を支える制度などの情報を知ることができた、高齢者問題など深く知ることができたなどの意見があり、概ね授業目的が達成できていると思えました。</p> <p>授業の予習・復習などの自己学習の項目の評価が全体の評価よりやや低い結果でした。今後改善してほしい点に「授業前に復習として、問題を出して誰かに答えるようにしていけばいい」の記述があり、今後は事後学修に加え、事前学修についても取り入れていきたいと思えます。また、高齢者へのインタビューの課題について、「12月、1月は実習等と重なり、インタビューの時間を取りづらい」という意見がありましたので、課題の示し方を工夫していきたいと思えます。「国試の解説は口頭だけでなく紙でもほしい」の意見もありましたので、解答の根拠がわかるよう工夫していきます。</p>	

授業科目名：成人看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ <b>専門科目</b> ・統合科目
<p>皆さんが興味をもって授業を聞いてくれたことがアンケートから分かりました。これからも成人期の看護において大切なことを分かりやすく伝えられるよう、興味をもって皆さんが学習できるよう、考えながら授業を組立て、講義をしたいと思えます。またグループワークが好評でしたので継続していきます。しかし一部の学生さん方が非協力的であった、という意見が寄せられました。これについては教員が適宜巡回しながら改善できるよう、声をかけていきたいと考えています。</p>	

授業科目名：人間と文化	科目責任者または記入教員氏名：上田 耕介
(FD 委員会記入欄)	2 年生 <b>基礎科目</b> ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>「難しかったけど面白かった」というコメントがほとんどであり、評価も高く、安心しました。「質問への回答コーナー」が好評のようです。かなり高度な話もしましたが、一生懸命ついてきてくれたようで、うれしく思います。社会の中の人間のこと、歴史のことなど、今後も興味を持ちつけてほしいと思えます。改善点すべき点や批判的コメントはありませんでした。</p> <p>ただし、アンケート回収率が低く、そのため、ほとんどの学生が高評価であったと判断することは出来ません。この授業を否定的に感じた人は、そもそも回答しなかったのかもしれませんが。アンケート結果を基に授業の改善を図りますので、アンケートに回答するよう、もう少し積極的に呼びかけたいと思えます。</p>	



授業科目名：みちのくの文化	科目責任者または記入教員氏名：相澤 出
(FD 委員会記入欄) 2 年生	基礎科目・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>一見すると看護に関係がなさそうですが、生活・人生の質（QOL）への関心が高まり、地域・在宅の現場が重視される現代の医療の現場にとって、実は重要な内容が含まれている科目です。看護、あるいは医療の専門科目とはかなり異質なところがあるので、まずは触れて、地域の文化に関する論点に親しんでもらうことを意識して授業を行いました。最終的には、身近な人に聞き取りを行った上で、その内容をまとめてレポートとして提出してもらいましたが、それらのレポートからは、受講者の皆さんの多くが、よく聞き取りを行ったことがうかがわれました。中には力作がいくつもあり、高く評価しました。科目担当者側に余裕がなかったこともあり、授業の準備にいささか不足があったことは反省点です。コメントにあったように、もう少し画像資料などを用意できたならよかったと思っています。これから看護の現場に出るとき、地域での、患者さんやご家族、地域住民の方々の生活と接する機会が出てきますが、この講義で取り上げた内容を、“地域”の“生活”に関心をもつきっかけとしてもらえたら幸いです。</p>	

授業科目名：英語 II	科目責任者または記入教員氏名：Lester Ng
(FD 委員会記入欄) 2 年生	基礎科目・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>Thank you for your hard work again this year! I enjoyed teaching you and speaking English with you. It's very easy to forget languages, so it's important to practice when you can! I wish you all the best in your future studies!</p>	

授業科目名：健康とスポーツ	科目責任者または記入教員氏名：栗林 徹
(FD 委員会記入欄) 2 年生	基礎科目・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>受講学生の皆さんには積極的に授業に参加していただきました。 より楽しく体を動かし、健康増進役立つ運動について理解をより深めてもらえるように授業改善を継続したいと考えています。 そのために、授業外の学習の支援をより充実したいと考えています。 また、限られた時間でより効率に実技ができるように工夫したいと思います。</p>	

授業科目名：ヘルスプロモーション	科目責任者または記入教員氏名：鈴木るり子
(FD 委員会記入欄) 2 年生	基礎科目・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。 授業には皆さん真剣に取り組んでいました。 授業評価では概ね満足できていた結果でした。 特に、グループでの意見交換や他のグループの意見を参考にできたなどグループワークでの学びが多かったとありました。 ヘルスプロモーションの概念や行動戦略は、他の科目とも関係します。さらに自己学習に努めてください。</p>	

授業科目名：公衆衛生学	科目責任者または記入教員氏名：立身政信
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・ <b>専門基礎科目</b> ・専門科目・統合科目	
<p>公衆衛生学は、社会の健康を増進するための施策と実践を学ぶ学問分野です。その関与すべき範囲は膨大であり深遠です。そのような科目に多くの学生諸君が興味を持って取り組んでいただいたことに敬意を表します。特に保健師を志す学生が積極的に参加してくれたのは嬉しいことでした。</p>	

授業科目名：チームケア論	科目責任者または記入教員氏名：相澤 出
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・ <b>専門基礎科目</b> ・専門科目・統合科目	
<p>本科目では、さまざまな現場での看護のご経験をお持ちの先生方からご協力をいただき、理論編と現場編の両面でチームケアについて解説する講義となりました。選択科目であり、少人数での開講となりましたが、逆に受講者の皆さんにとって、先生方と近い距離で、多くのことを学ぶ機会となったのではないかと考えられます。理論編の担当である私の講義内容が、医療社会学の視点にたつものであったため、看護学の視点からの議論といささか異なるものが多く、戸惑われたかもしれません。しかし、授業のコメントペーパーや授業評価から、関心を持ってもらえたようで、科目を担当したものとしてうれしいです。これからどのような看護の現場でも、同僚の看護職はもちろんのこと、他の職種の方々との連携・協働は欠かせません。今後もさまざまな角度から、連携・協働について、広い視野を持って考えてもらえたらと思います</p>	

授業科目名：小児看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：濱中喜代
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ <b>専門科目</b> ・統合科目	
<p>アンケートに対するご回答ありがとうございました。回答率が49%とやや低かったことは少し残念でしたが、アンケートの点数は全体的に得点が高く、一定の成果があったと解釈されました。</p> <p>良かった点には「講義だけでなく演習を通して学びを深めることが出来た点。実際にやってみて新たに分かったことがたくさんあったから」「小児看護では成人と違って、気をつける項目や観察する項目がたくさんあることが分かったし普段体験できないことを体験することができたのでよかった」などの演習に対する肯定的な意見が多くありました。</p> <p>改善してほしい点に個人の思いが表出されていましたが、コメントは控えます。</p> <p>今後も技術演習を通して、皆さんが小児看護学の学びを深められるようにさらに工夫して参りたいと思います。</p>	

授業科目名：地域・在宅看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：大沼由香
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ <b>専門科目</b> ・統合科目	
<p>アンケート回答率 83%で、総合評価 3.87 と高評価でした。ありがとうございます。「この授業科目で得たものが多かった」が最も高評価の一つでした。この科目は地域・在宅看護を学ぶ専門科目の入口ですので、皆さんに関心をもっていただけて嬉しいです。</p> <p>グループワーク、ゲストスピーカー、動画等、授業がわかりやすく工夫されていたとの声が多く、次年度も教授方法を工夫していきたいと思ひます。</p>	

授業科目名：母性看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：江守陽子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ <b>専門科目</b> ・統合科目	
<p>母性看護学に必要な看護技術と看護過程を演習形式で講義いたしました。</p> <p>興味を持って受講していただきありがとうございました。</p> <p>次年度からは大幅に演習内容を見直す予定ですが、皆様から頂きました授業評価内容を活かし、益々わかりやすく、興味を持って学習していただけるような内容を目指します。</p>	

授業科目名：老年看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：吹田夕起子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ <b>専門科目</b> ・統合科目	
<p>授業のよかったと思う点として、「高齢者の具体的な身体変化や、必要な看護について学ぶことができた」「実習に役立つ技術を学べた」「高齢者のフィジカルアセスメントの仕方についてよく学ぶことができた」「高齢者の看護過程の立て方についてよくわかった」「資料がとても見やすく、知識を定着することができた」などが挙げられ、全体に評価も高かったと思ひます。</p> <p>改善してほしいと思う点として、「事前学習がわかりにくい」が挙げられていました。演習の前後で事前・事後の学修資料を提示していますが、学修内容がよりわかりやすいように改善していきたいと思ひます。また、授業評価アンケートの回答率が 51%だったため、今後はアンケートの提出についても周知を徹底するよう努めていきます。</p>	

授業科目名：ケア・スピリット論Ⅱ	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄)	2年生 基礎科目・専門基礎科目・ <b>専門科目</b> ・統合科目
<p>アンケートに対するご回答ありがとうございました。回答率が低かったことは少し残念でした。アンケートの点数を全体と比較すると授業内容に「関心が持てたか」「満足感はあったか」が目立って低い点数でした。改善してほしい点として「意味が理解できなかった」という意見もありました。皆さんがより理解しやすいように満足が得られるように内容や方法を検討して参ります。また「自己学習をしたか」「授業を受けるマナーを守れたか」も点数が低く、「学生としての役割を果たせたか」も点数が低い項目でした。学生の皆さんが意欲的に取組めるような工夫をしていきたいと思ひます。一方で「グループワークを通して考えが深められた」「グループワークをしてよかった」という意見も多く見られました。今後もグループワークを活用していきたいと思ひます。</p> <p>「倫理が理解できた」「看護事例について討論することで医療従事者としての責任や考え方を改めて考えさせられる授業だと思つた」「患者にとっての最善をグループで話し合いながら検討できた」という意見は、今後の授業を構築していく上での励みになりました。</p> <p>以上より、今後も倫理的判断能力が培われるように「ケア・スピリット論Ⅱ」の学びを深められるように、教育方略や教育内容について検討し、改善を図つて参ります。</p>	

授業科目名：急性期看護論	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄)	2年生 基礎科目・専門基礎科目・ <b>専門科目</b> ・統合科目
<p>急性期にある対象の理解と看護の重要性が理解できた、資料が分かりやすかつた、演習で丁寧に指導してもらえた、という評価をいただきました。4件法のスコアが全科目や専門科目の平均と比較して高値であったことから、皆さんの満足が得られる内容であったこと理解しました。しかし、一部の学生がグループワークに非協力的であったという意見が寄せられていました。グループワークについては、メンバー全員が同等に貢献できるよう教員がグループを巡回し声がけを徹底していきます。</p> <p>回答率が30%でした。演習時のアンケート調査は回答しにくかつた方がいると思ひます。今後この点についても検討していきます。</p>	

授業科目名：調査と統計	記入教員氏名：令和6年度科目担当 牛渡亮
(FD 委員会記入欄)	3年生 <b>基礎科目</b> ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>授業担当であった大井先生のご異動にともない、今年度より授業を引き継ぎます牛渡です。大井先生の授業評価を拝見し、大変優れた授業を実施されていたことがわかり、身の引き締まる思ひです。</p> <p>改善点として最も多くのご指摘があつたのは、PCや通信環境に関わる問題でした。この点については、皆さんからのご指摘をうけて、昨年度末に情報処理室のPCをすべて入れ替えました。後輩たちにはより快適な環境で授業を受けてもらえると思ひます。また、次に指摘の多かつた教室の温度調節については、今年度私も留意します。</p> <p>一方、授業を履修して良かつた点として最も多く挙げられていたのは、「看護研究に活用できる知識や技術を学べた」という点でした。受講するのが3年生ということもあり、卒業研究に役立つ授業内容が求められていたのだと思ひます。今年度の授業を作成する際には、卒業研究との結びつきを意識しながら、複雑な社会現象を読み解く知識と技術を身につけてもらえる工夫を考えたいと思ひます。</p>	

授業科目名：エンドオブライフケア論	科目責任者または記入教員氏名：濱中喜代
(FD 委員会記入欄) 3年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ <b>統合科目</b>	
<p>アンケートに対するご回答ありがとうございました。回答率が30%と低かったことは少し残念でしたが、アンケートの点数は全体的に高得点でやりがいを感じました。</p> <p>良かった点には「緩和ケアや終末期など普段そんな学ばないものを詳しく学ぶことが出来ました」「エンドオブライフに対して、小児から老年期まで学ぶことができ看護師としての関わりを学ぶことができた」「事例を倫理的に考えることで、自分の看護観が深まった」という記述があり、一定の成果があったと解釈されました。改善してほしい点として「休講になる際は事前に連絡してほしい」がありました。急遽の対応であったため、ご連絡が遅くなり申し訳ありませんでした。今後も皆さんが学びを深められるように内容や方法をさらに検討して参りたいと思います。</p>	

授業科目名：看護研究方法論	科目責任者または記入教員氏名：大沼由香
(FD 委員会記入欄) 3年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ <b>統合科目</b>	
<p>授業評価全般に高評価をいただき嬉しく思います。特に「意欲的に授業に参加」が3.96だったことは、授業参加姿勢として素晴らしいです。</p> <p>看護研究方法についての授業なので、開始まで不安に思っていた人が多かったようですが、複数の教員の看護研究の経験談を聞いたこと、4年生の卒業研究発表会に参加したことで、具体的な看護研究のイメージがつかめたようです。この学びを卒業研究ゼミナールで活かしてください。</p>	

授業科目名：保健医療福祉連携論	科目責任者または記入教員氏名：大沼由香
(FD 委員会記入欄) 3年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ <b>統合科目</b>	
<p>授業アンケートの結果は、総合評価が3.94と高評価でした。ありがとうございます。1項目以外は、すべて3.90以上の評価で、最高評価は3.97が6項目ありました。唯一3.82の評価だったのは「授業内容への興味・関心」というものでした。決して評価が低いわけではありませんが、看護師としての実務に欠かせない多職種連携ですので、一層関心をもっていただけるように、次年度は更に工夫していきたいです。</p>	

授業科目名： セクシャルヘルスアセスメント	科目責任者または記入教員氏名：江守陽子
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ <b>統合科目</b>	
セクシャルヘルスアセスメントの講義は 2023 年度で終了です。 興味を持ってお聴きくださりありがとうございました。	

授業科目名：地域看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：鈴木るり子
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ <b>統合科目</b>	
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業には皆さん真剣に取り組んでいました。</p> <p>地域看護学概論は、看護職の地域理解を深めるための技術と展開方法を学ぶ科目です。その為に多くの法          律関係法規と関わりがあり、講義でもライフサイクルに合わせた関係法規の説明を強化して行いました。今          後とも看護職として必要な関係法規について学びを深めてください。</p>	

授業科目名：地域看護学援助論	科目責任者または記入教員氏名：鈴木るり子
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ <b>統合科目</b>	
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業には皆さん真剣に取り組んでいました。</p> <p>地域看護学援助論は、地位看護活動で展開される技術・技法について、家庭訪問、健康相談、健康教育、          健康診査や地域アセスメントから健康課題の抽出など幅広い講義内容となっており、視聴覚教材等使用しな          がら講義しましたが、GW についての時間配分等については今後改善を図りたい。</p>	

授業科目名：在宅看護学援助論	科目責任者または記入教員氏名：越納 美和
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ <b>統合科目</b>	
<p>学生授業アンケート評価は、総合評価は、3.97 で、ほとんどの項目が 3.9 以上の評価でした。担当教員一          同、大変嬉しく思っております。自由記載では、授業教材の工夫やゲストスピーカーの実践的な話など最新          の在宅医療や機器などを取り入れて、実際の在宅看護をイメージできた学びになっているコメントをいた          だきました。来年度の授業も実践を取り入れた授業展開を進めたいと思います。</p> <p>改善点として、レポート点数の比率をあげてほしいという声がありました。提出されたレポートは大変よ          く調べられており、論理的に述べられているものが多くありました。また、内容がオリジナリティで大変興          味深く拝見し、評価させていただきました。来年度以降はレポートを活用した授業を取り入れ、レポートを          活かしていきたいと思っております。</p>	

授業科目名：臨床倫理	科目責任者または記入教員氏名：濱中喜代
(FD 委員会記入欄) 4年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ <b>統合科目</b>	
<p>授業評価にご回答頂きありがとうございました。回収率が80%と高かったことは学生の皆様の関心が高いことを示していますので、まずは感謝いたします。グループワークが多く、学生の皆様の協力の下で進めていく方法でしたが、その方法が仲間の意見を聞いて考えを深めるなど効果的な学修だったという意見が多く、好評価であったことは教員にとっても嬉しい反応でした。また授業内で課題を完成させる方法も負担が少なく良かったという回答も多くありました。その一方で例年書かれる意見ですが、開講時期を早めてほしいとの意見が複数ありました。今年度は極力早い時期に終了するように時間割を組んだのですが、さらに工夫が必要と思われました。2025年新カリキュラムでは8コマになるので、この時期の開講する負担感は少なくなるものと考えられますが、2024年もさらに後期の早い時間に終了できるように進めて参りたいと思います。</p>	

授業科目名：救急看護論	科目責任者または記入教員氏名：土田幸子
(FD 委員会記入欄) 4年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ <b>統合科目</b>	
<p>新人看護師が直面する場面を想定し授業内容を計画している。また、総合実習後の授業であることから、これまでの体験を意味づけられ、さらには入職後のイメージにもつなげられることができた。</p> <p>ただ、使用した衛生材料などの数が少なかったため、直接手に触れられるよう準備をすすめていきたい。</p>	